

第2次いなべ市総合計画の評価・検証  
(計画期間：2016年度～2025年度)

第3回いなべ市総合計画審議会資料

令和6年9月3日

第3回いなべ市総合計画審議会

---

(第2回いなべ市総合計画審議会資料の続編)

～目次～

3. 第2次いなべ市総合計画の検証と第3次総合計画の方向性.....	1
～第2次総合計画の体系と特徴～.....	1
～第2次総合計画の評価検証(再掲)～.....	1
～市長インタビューより～.....	2
～各種アンケート調査の主要な結果～.....	3
～第2次総合計画期間中の社会潮流と第3次総合計画でもふまえるべき動向～.....	4
～第3次総合計画(2026年度～2035年度)の大きな方向性～.....	4

### 3. 第2次いなべ市総合計画の検証と第3次総合計画の方向性

～第2次総合計画の体系と特徴～	
第2次いなべ市総合計画（2016年度～2025年度）	
<p>○第1部 序論</p> <p>○第2部 基本構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念：いきいき笑顔応援のまち（市制施行から20年継続する理念）</li> <li>・将来都市像：               <ul style="list-style-type: none"> <li>『住んでいーな！来ていーな！活力創生のまち いなべ』</li> </ul> </li> <li>・共通目標（横断的視点）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民が主役のまちづくり</li> <li>2 いなべブランドの創造</li> <li>3 定住・移住・交流の促進</li> </ol> </li> </ul>	<p>○第3部 人口ビジョン・総合戦略</p> <p>○第4部 基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章～第5章（全施策分野）</li> </ul> <p>○第5部 計画推進にあたって</p> <p style="text-align: center;">〈重点取組事項〉</p> <p>（横断的視点）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 SDGsの推進</li> <li>2 国土強靱化の推進</li> <li>3 外部人材の活用</li> <li>4 ダイバーシティの推進</li> </ol>
～第2次総合計画の評価検証(再掲)～	
<p>○主な成果</p> <p>「<u>住んでいーな！</u>」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少抑制…2025年目標値44,000人を達成予定（2013年時点の社人研推計42,060人、現状値44,666人〈2024年3月〉）</li> </ul> <p>▶主な要因：企業誘致の成功、保育・教育・子育て環境の充実、DXの推進（各分野への積極的なICT導入）、福祉委員会、元気みらい都市いなべ 等</p> <p>「<u>来ていーな！</u>」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流人口の増加…2015年(計画策定時):414,797人(2023年の最新値は642,898人)</li> </ul> <p>▶主な要因：にぎわいの森、ツアーオブジャパン、Nordisk Hygge Circles UGAKEI（宇賀溪キャンプ場）、野遊びSDGs（スノーピーク）、阿下喜エリアの活性化 等</p> <p>「<u>活力創生のまち</u>」（多様な独自の取り組みでいなべ市の活力を創生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の多面的な効果を生む取り組みとして、東海環状自動車道開通、新庁舎開設、いなべブランドの創造、SDGs未来都市いなべに選定、ゼロカーボンシティの表明（チャレンジ・カーボンニュートラル いなべ）、フェアトレードタウンの認定、LGBT啓発事業の推進、グリーンクリエイティブいなべの推進、地域おこし協力隊、地域活性化起業人等の積極的活用 等</li> </ul>	

#### 「財政面」


- ・財政面において、予算規模が大幅に上回った要因は、保育所、小学校、障がい者福祉施設、福祉、子育てや教育に関する施設整備、庁舎建設など実質的に市の負担が少ない合併特例債等を活用したことや新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業によるが、基金残高は維持できている。

#### 「第2次総合計画の体系」

- ・いなべ市の総合計画は、第2次いなべ市総合計画からその計画をより具体的に実施するため、予算編成及び行政評価を一体的に連動させ、総合計画のPDSサイクルを廻し、行政システムで連携し、全体として機能させていく総合的な行政マネジメントの仕組みを構築した。

#### 「第3次総合計画の体系に係る方向性」

- ・総合計画でも限られた財源を有効活用につながる在り方を検討する。
- ・総合計画審議会において、毎年、事業の進捗管理を実施し、想定外の事象が生じても、目標を柔軟に見直す体制とした。今後もより効果的な手法に改善を重ねる必要がある。
- ・現行計画の体系では様々なトレンドを横断的に盛り込んでおり、一定の成果もあったが、体系が複雑でわかりにくい面がある。



#### ～市長インタビューより～

- 将来像、共通目標、重点への取組は、振り返れば実際にそういう形で進んできた。
- 自動車産業が健全だったおかげで次の投資に着手できた。観光や山辺を活用したキャンプ場誘致など。女性雇用にもつなげていきたい。
- 販路を持っている民間企業等と挑戦していくのが効果的（例：大手企業のIT農業新事業や、旅行会社が米を100+単位で契約し、海外の寿司店に卸し、インバウンドの流れをつくる等）。
- 今後のキーワードは『誇りと愛着』。
- 他の自治体が尻込みする事業もスピーディーに着手する姿勢（競合相手や市のリスクを最大限減らしながら）。

～各種アンケート調査の主要な結果～

- 住みやすさ…市民：「住みやすい」が67.4%（前回比－1.2%）  
 …中学生：「住みやすい」が91.1%（前回比＋16.3%）  
 …高校生：「住みやすい」90.9%（前回調査無し※以下同様）
- まちづくり活動に参加したい市民の割合は32.2%（前回比－0.9%）
- 市民団体…活動拡大が21.6%、現状維持が78.4%、課題は担い手不足と担い手の高齢化  
 ※多分野で複数の活動を行う団体を想定し、複数回答としている
- 企業活動…「行いやすい、どちらかといえば行いやすい」が58.5%（前回比＋5.3%）
- 定住意向…市民：58.8%（前回比－1.5%）  
 …中学生：21.1%（前回比－1.9%）、高校生：27.3%※前回調査なし
- 重要度が高く、満足度が低い重点課題の施策  
 「集落内の生活道路の整備」、「歩道の整備」、「公共交通機関の利便性」「交通安全対策の充実」「医療」、「防犯」、「森林整備」、「買い物の利便性」、「若者の定住促進」
- 「観光レクリエーション事業の振興」の重要度は、44項目中43番目に低いが、高校生ワークショップの『現在、あなたに関心のある分野』では、「観光」が29.4%で14項目中2番目に高い。
- 幸福度 …市民：6.60点（前回比－0.07点）  
 …中学生：7.62点（前回比＋0.21点）、高校生6.94点
- 市への愛着…市民：60.1%（前回比－3.1%）  
 …中学生：80.1%（前回比＋9.1%）  
 …高校生：55.9%（いなべ市民の高校生に限定すると86.4%）

○いなべ市の魅力

市民	中学生、高校生
1位 自然・山・川	1位 にぎわいの森
2位 大企業・企業 (トヨタ車体・デンソー含む)	2位 自然
3位 アウトドア (キャンプ、青川峡、宇賀溪含む)	3位 八幡祭
4位 梅林公園・農業公園	4位 お茶、かぶせ茶、石博茶、 お茶が美味しい
5位 イベント(個別の記載は含まず)	5位 祭、花火大会
6位 特産品(個別の記載は含まず)	6位 さくらポーク
7位 施設(個別の記載は含まず)	6位 空気がきれい、美しい
8位 お茶・石博茶	8位 西田有志
8位 にぎわいの森	9位 人、地域の人が優しい
10位 そば・そば祭り	10位 三岐鉄道、北勢線



～第2次総合計画期間中の社会潮流と第3次総合計画でもふまえるべき動向～

- VUCA時代（激しい変化が前提の時代）が到来。柔軟で迅速な取り組みの必要性が増加。
- SDGsの定着と、今後のウェルビーイング社会の到来を見据えた持続的な社会への対応。
- 人口減少・都市への人口一極集中傾向が続く。
- 国策としての観光立国が掲げられ、インバウンド対策の重要性も増加。
- 国から地方への財源は、旧来の公平分配から投資的な傾向へと変化。
- 災害の激甚化、DX化、嗜好の多様化等。
- 東海環状自動車道いなべICの開通及び全線開通。



～第3次総合計画（2026年度～2035年度）の大きな方向性～

- 合併後生まれの若年世代では、市民と比べて市への愛着や幸福度が高く、かつ増加傾向にある。旧4町の合併から20年が経過する中で、各町の良さは守りつつ、「いなべ市」としてのシビックプライドを形成していく。
- 市の産業の中心を担う自動車産業に加えて、新たな産業の価値を創出し、交流人口の増加や雇用の多様化につなげる。
- 変化の激しい社会潮流をふまえ、これまでのいなべ市の特徴でもある挑戦を継続する（リスクは最大限抑えながら）。
- 限られた財源をより効果的に活用する為に、総合計画と行財政改革との一体的推進を図る。
- 複雑になりがちな総合計画ではあるが、市民へのわかりやすさという点も工夫していく。